

令和 6 年度 下 半 期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	西児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市鏡島南2丁目8番40号		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		
料金制	☐ 使用料 ☐ 利用料金 ☒ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,393,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造3階建のうち1階の一部 ◇敷地面積:3,604.32㎡ ◇延床面積:468.22㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、集会室、おもちゃ図書館、静養室兼相談室、事務室、 駐車場(西部体育館駐車場と共有) ※岐阜市西部体育館との合築		

●利用状況

		R6下半期	R6上半期	R5下半期	R5上半期	R4下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	9,281	9,797	10,663	10,137	7,522
	移動児童館利用者数	85	542	67	364	48
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※2(2)	※9(7)	※2(1)	※6(4)	※2(2)
	開館日数(単位:日)	151	154	151	155	151

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①計画通り実施しました。 ②常勤職員3名(児童厚生員3名配置) ③ホームページ、Instagramにおたよりを掲示。ホームページとInstagramの案内を利用者に促して、広報に努めている。 館内には掲示をして、利用者に随時案内をしています。 ④児童・保護者を対象に、アンケートを実施し、その中に要望等記入してあればすぐに説明をしました。また苦情、クレーム等は利用者との会話の中で聞かれたことについては、職員間で情報共有して検討し誠意をもって対応しました。 ⑤仕様書、事業計画書に基づき事業を実施しました。
自主事業 提案事業		
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①管理者点検マニュアルに基づき保守点検を適切に実施しました。 ②施設の清掃は職員による日常清掃と、就労継続支援B型促進事業所による週2回の清掃。業者によるワックスフィルター清掃・ガラス拭きを年3回(今期1回)実施しました。 安全に施設を利用していただくため、エアコンの温度調節管理、換気(常時窓開放)施設内外に蟻・蜂の害虫等が発生した際の速やかな駆除をしています。 ③各部屋を頻繁に見回り、利用者不在時の消灯や事務室の消灯等、節電・節約に努めました。 ④月2回施設の安全点検・遊具点検をし、頻繁に施設内を巡回して不備等の早期発見に努めました。 また、備品等は、可能な限り修理し、継続利用に努めました。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①修繕を必要箇所は早急に修繕をおこないます。 ②故障した玩具は修理できるものは職員が行い難しいものについては、毎月開催されるおもちゃ病院のドクターの来館時にお問い合わせしました。
危機管理 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程・災害対策マニュアル・児童福祉法関係法令を厳守し適切に実施しました。個人情報が記載された、入館カードや申し込み表は保存期限後速やかに全てシュレッダー処理を行い個人情報の漏洩防止の徹底に努めました。 災害が発生した場合は、岐阜市社会福祉事業団事務局並びに岐阜市へ迅速に報告する体制を構築しました。西部体育館と合同で、消防訓練を下半期1回実施しました。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間: 令和7年1月4日～1月31日 回答者数: 50人 <小・中・高校生用アンケート> 期間: 令和7年1月4日～1月25日 回答者数: 50人(小学: 1年6人、2年16人、3年8人、4年3人、5年8人、6年9人) (中学: 1年0人、2年0人、3年0人)(高校: 1年0人、2年0人、3年0人)
利用者アンケートの実施結果	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 【校区】 市橋(17人)、鏡島(14人)、本荘(4人)、三里(3人)、合渡(2人)、加納西(2人)、その他市内(6人)、市外(2人) 【年齢】 10代(0%)、20代(20%)、30代(76%)、40代(4%)、50代以上(0%) 【利用頻度】 初めて(14%)、ほぼ毎日(0%)、週2～3回(12%)、週1回(20%)、2週に1回(40%)、月1回(8%)、その他(6%) 【来館相手】 子・孫(94%)、友人(6%) 【子・孫の年齢】 0歳(35%)、1歳(25%)、2歳(32%)、3歳以上(9%) 【来館方法】 徒歩(8%)、自転車(8%)、自家用車(78%)、公共交通機関(6%) 【何で知った】 ホームページ(48%)、広報紙・チラシ(10%)、学校(0%)、保育所・幼稚園(0%)、知人・友人(20%)、ぎふし子育て応援アプリ(6%)、ソーシャルメディア(8%)、その他(8%) 【評価】 (あいさつ) 満足(88%)、ほぼ満足(8%)、普通(4%)、やや不満(0%)、不満(0%) (言葉づかい) 満足(90%)、ほぼ満足(8%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用者対応) 満足(86%)、ほぼ満足(12%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用しやすさ) 満足(68%)、ほぼ満足(28%)、普通(4%)、やや不満(0%)、不満(0%) (整理整頓) 満足(78%)、ほぼ満足(20%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) (清潔感) 満足(78%)、ほぼ満足(14%)、普通(8%)、やや不満(0%)、不満(0%) (換気) 満足(66%)、ほぼ満足(20%)、普通(14%)、やや不満(0%)、不満(0%) <小・中・高校生用アンケート> 【学校名】 鏡島小(39人)、市橋小(8人)、加納小(2人)、市外(1人) 【学年】 小学: 1年(12%)、2年(32%)、3年(16%)、4年(6%)、5年(16%)、6年(18%) 中学: 1年(0%)、2年(0%)、3年(0%) 高校: 1年(0%)、2年(0%)、3年(0%) 【利用頻度】 初めて(2%)、毎日(0%)、週4・5回(2%)、週2・3回(4%)、週1回(42%)、その他(50%) 【来館相手】 ひとり(11%)、友人(50%)、兄弟姉妹(20%)、父母(13%)、祖父母(6%)、親戚(0%) 【来館方法】 徒歩(40%)、自転車(40%)、自家用車(20%)、バス・電車(0%) 【好きな遊び】 ドッジボール(29%)、まんが(16%)、人生ゲーム(11%)、サッカー(10%)、ままごと(8%)、おえかき(7%)、マンカラ(6%)、カロム(5%)、マールレース(4%)、その他(2%)
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<保護者> ○いつも明るく丁寧に接してくださり親子共々楽しく利用させてもらってます。(同意見3名) ○床暖房が欲しい →要望を市役所に伝え検討して頂くようお願いしました。 ○娘が楽しそうでした。 ○発達に関する相談にのってもらって身近に聞ける環境が良かった。 ○便座が冷たい。 →要望を市役所に伝え検討して頂くようお願いしました。” <児童> ○ずっとつぶれないでいてください (3人)。 ○楽器を増やしてほしい →検討します。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業（行事）等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	S	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策（窓口対応、プロモーション、設備の整備など）	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	A	A
		⑦施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	S	A	A
		区分評価				A
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施（リサイクルやリユース、節水・節電など）	S	S	S
		区分評価				S
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員（施設が児童センターの場合は体育指導員）を1人以上配置（このうち最低1人は常勤職員とすること）	A	A	A
		⑪スタッフ（採用予定者も含む）の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	S	S	S
		⑫スタッフ（採用予定者も含む）の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策（利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理（リスク）や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	S	A	A
		区分評価				S
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成（一部業務の再委託先）、地元住民の活用（雇用又はボランティア等）	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加（地元行事への参加）又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価	利用者からリクエストされるイベントの実施(公平性・透明性②) アンケート中のイベントに対する要望に「英語を取り入れた遊びもやって欲しい」という内容があったので、簡単な英語のふれあい遊びを音楽イベントで2曲取りいれました。また、手話を身近に感じて欲しいという思いから、手話を交えたミュージックパネルシアターを演じました。繰り返し同じフレーズの手話で歌う曲だったので、歌の終盤には参加者全員が一緒に手話を行い会場が一体化して楽しめました。イベント内容を充実させているので、「家でも英語曲、手話もやってみます。」「このイベントは楽しいので必ず来ています。」と、リピートしてくださる方も含め、毎回30組以上の方に参加していただいています。 ・インスタグラムによる広報・宣伝活動の充実(公平性・透明性②) インスタグラムを導入したことにより、おたよりの完全ペーパーレス化をおこなっています。インスタグラムによって、幅広い年齢層に、スピーディーに情報を提供できています。利用者へのお知らせは「インスタグラムを見てください」と呼びかけ、実際インスタグラムを活用していただいているので、フォロワー数も増加しています。児童センターの工事案内も迅速におこなうことができました。 ・絵本コーナー充実からの読み聞かせイベント(効果性③⑥) 11月の絵本の読み聞かせイベントは、「カレーライス」の歌を題材にカレーの材料カードを鍋に入れていく幼児参加型のパネルシアターで遊びました。また、新聞紙を折りながらストーリーを紡いでいく新聞紙シアターも取り入れ、2冊の大型絵本の読み聞かせ、親子ふれあい手遊びなど盛りだくさんの内容で30分実施しました。参加した親子も楽しかった、また来たいと喜んでいただけて良かったです。色んな題材を取り入れ、お話、絵本の楽しさを知っていただく機会をつくることが出来ました。 3月の絵本の読み聞かせイベントも11月とは違う絵本で実施しているので、リピーターも多く、こちらも大好評でした。 ・職員による音楽遊び(効果性③) 下半期は2回実施しました。毎回参加しても楽しめるように、テーマを変え1回につき、10曲以上の音楽に合わせて、歌ったり、踊ったり、演奏したりしました。2回とも30組以上の方に参加していただき、楽しかったのでまた来たいと好評いただいています。 ・中学生の乳幼児ふれあい体験(効果性③) 中学生職場体験時に0歳児とのふれあい体験をしました。将来、親となる子どもたちに赤ちゃんの可愛さ、愛おしさを知ってもらえるよう段取りをしました。それに賛同していただけたお母さんたちが集まってくださり、「主人は抱き方もわからなかったから是非抱いてみて」と中学生に赤ちゃんを抱かせてくれました。中学生は可愛いと、とっても優しい笑顔で赤ちゃんをみつめ、児童センターで職場体験して良かったと満足していました。 ・高校生の乳幼児ふれあい体験(効果性③) 市岐商の授業で、「子育て中の経済状況はどうか?」というインタビューをお母さんたちにしたいという依頼を受け、幼児クラブの日にセッティングしました。幼児クラブに来たお母さんたちに目的を説明して了承していただき、インタビューを学生がしました。学生に子育て中の経済面は大変だと生の声を聞いてもらい、また、子育ての関わり体験もしてもらうべく、急遽幼児クラブで絵本の読み聞かせをしてもらったりして子どもたちと触れ合いました。学生たちは、「子育てはいろいろな面で大変だけど、それ以上の幸せもあるとわかりました」と実感していました。 ・大人向け絵本コーナー開設(効果性③) 毎月岐阜市中央図書館に職員が行き、現在どんな絵本が人気があるかという情報を得ながら絵本などを借りています。さらに、絵本コーナーの充実を目指して、岐阜市中央図書館司書に子育てを応援する大人の方に人気の絵本、育児エッセイを紹介していただき、母親目線での本の選択し大人向け図書コーナーを開設しました。育児コミックエッセイはバラバラと読め、また共感する部分もあるようで、多くの方が子どもと遊びながら読んでいます。本を通して、気持ちが軽くなり育児の活力となるような育児支援を進めています。 ・子どもたちの主体的な活動の場(効果性③) 床が綺麗になった遊び場で更に楽しく遊びたいということで、小学生用おもまごとセットを作ろう計画をはじめました。子どもたちはおもまごとセットを夏休みに紙で作って遊びを広がっていました。紙で作ったものは消耗が早くて残念がっていたので、今回、フェルト素材に変身させ食材の種類も増やして作り直すことにしました。高学年が司会をしながら低学年が意見を出し合い、ロールケーキ、ピザを作りました。自分たちが作った食材をみんなが使って遊んでくれているのを見たり、自分たちも遊ぶことができて大変満足していました。 ・手品をやってみよう(効果性③) 小学生のこんなこともできるという自己肯定感を高めようと、「手品をやってみよう」を5か月5回企画しました。1回目では手品を見て楽しみ、さらに、自分でやれるようになると、親や友達に見せる楽しみを見い出していました。2回目以降は1回目の手品を1回目になかった子の前で披露してから、次の手品を覚えるということをしました。いろんな手品を覚え、親や友達に驚いてもらえて満足を得ていました。 ・利用者のニーズ(効果性④) 上半期アンケートから登録制幼児クラブに絶対入りたいと要望を受け、3学期登録制幼児クラブは定員なしで募集を実施し、合計66組受け入れました。予約なしで気軽に参加したいという要望から、月5回の自由参加幼児クラブも継続しています。内容も母親が楽しめる親子工作がやりたい意見を取り入れました。全ての幼児クラブで、お母さんたちと一緒に、大勢で楽しい充実した時間を過ごしています。利用者ニーズにできる限り応える事で、色々な校区からの来館に繋がり、運営にも反映しています。また、下半期アンケートも満足の評価をいただいています。 子ども会指導員研修での繋がり(効果性⑤) 上半期移動児童館で実施した子ども会指導員研修が好評で、子ども会との関わりが増えました。移動児童館として子ども会とコラボしたり、子ども会に遊びの提供をしました。地域子育て支援に繋がっています。 ・子どもの発達・成長をふまえた幼児クラブの実施(効果性⑤) 幼児クラブの内容を、子どもの発達・成長に応じた視点から考え実施しています。登録制幼児クラブでは、1歳～1歳半は抱っこしたり、座ったままの活動をとりたい、1歳半～2歳は工作で手先を使ったり、2歳以上は体操など動く活動をしています。0歳児自由参加は要望の多い身体測定を中心に交流会・親子遊びをし、未就園児自由参加では、それぞれの年齢の遊び方を提示しながら親子ふれあい遊びを実施しています。 ・個人懇談期間にクリスマス工作を毎日実施(効果性⑥) 工事により、遊戯室での運動遊びを制限していたので、短時間で制作できるクリスマスミニリース作りを毎日楽しめるよう環境設定をしました。毎日作れるので、「今日は家族の分を作ろう」と小学生は張り切って作っていました。 ・職員の資質向上を図る研修(安定性・安全性⑫) 読み聞かせイベント、音楽遊びイベント開催にあたり、毎回新しい企画を取り入れる為、職員各自によるオンラインなどによる研修を実施しています。各自研修したことを館でさらに検討・練習を1回のイベントで5回以上リハーサルをして実施しています。それが毎回30組以上の参加者へとつながっていると思います。
--------------------------	--

前回までの意見を踏まえた取組み状況	○職員によるリトミックに様々な教材を取り入れたり、リノベーションした幼児室を活用し、絵本の読み聞かせイベントを実施する等、業務改善や新規事業に積極的に取り組んでいる。 →下半期も新しい題材でリトミック2回、絵本の読み聞かせイベント2回実施しました。お母さん方に好評いただいています。 ○夏休みに自由参加の小学生行事を13回実施し、毎回20人前後の小学生が参加する等、利用者増となるような取り組みをおこなっている。 →参加しやすい行事を考えていきます。 ○近隣の高校と連携し、プラスバンド部によるミニコンサートや、図書委員による絵本の読み聞かせを実施する等、交流事業に取り組んでいる。 →下半期もプラスバンド部の生演奏でジャンボリーミッキーを乳幼児、保護者みんなで踊りました。 ○小学生と幼児が一緒に遊ぶなどふれあえる環境を作られていることは評価できる。 →これからも続けていきます。 ○ブラレール等電池を抜いていることは、安全に配慮されているかもしれないが、そのおもちゃの本来の遊び方で安全に楽しめる環境作りができるとよい。 →電池なしの木製電車で安全に楽しめる環境に変えました。 ○インスタグラムを活用して、紙の削減を図るとともに、迅速な情報発信に取り組んでいる。 →これからも迅速な情報発信をしていきます。
今後の取組み	○子どもたちの中から発生する遊びを受け入れ、見守っていきます。 ○職員によるリトミック講座と読み聞かせイベントが好評でしたので引き続き充実させていきます。 ○移動児童館で地域の子育て支援に取り組んでいきます。

●所管課の意見

- 子どもだけでなく親が本に親しむための取り組みを行っている。
- 幼児クラブを子どもの発達・成長に応じた視点に変更するなど利用者に寄り添った改善を行っている。
- ワークライフバランスの取れた職場環境に取り組んでいる。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・登録制幼児クラブの内容を、子どもの発達・成長に応じた視点から考えて行っている点は評価できる。
- ・市立岐阜商業高等学校と連携して取り組んでいる点は評価できる。
- ・職員でできることは自前で行うことで経費削減を実現しているほか、職員が年次有給休暇を取得しやすい環境づくりなど、ワークライフバランスの実現を図っている点は評価できる。